

城陽高校図書館だより

2023-No. 2

令和5年6月28日

京都府立城陽高等学校図書館発行

ふみくら

星に願いを ～成績が上がりますように～

図書館ではたなばたの笹を用意しました。短冊に願い事を書いてみましょう。中間考査がいまひとつ良くなかった生徒は、テストの点がとれるように願うのもいいですし、スポーツクラブに所属している生徒は夏や秋の京都府大会での優勝を祈念するのもいいでしょう。笹飾りは7月10日くらいまで飾る予定です。



図書委員が薦めるたなばたの本

『アンパンマン あかちゃんまんとねがいぼしかなえぼし』やなせたかし原作
たなばたの日にバイキンマンはドキンちゃんのために願い事をかなえる「ねがいぼし」と「かなえぼし」を捕まえようとします。ふたりを助けようとあかちゃんまんとアンパンマンが力を合わせて戦います。子どもの頃に見たアンパンマンのたなばたエピソードを絵本でどうぞ。



『たなばたまつり』松成真理子著

さきちゃんの町の広場に笹が置かれ、皆短冊に願いを書いて飾りました。七夕の日、願いの言葉たちは短冊を離れて夜空に上って行って…。心あたたまる七夕のお話です。

他にもたなばた関連の図書をいろいろ展示しています。(裏面で何冊か紹介しています)

読書週間イベント結果報告

1. ビブリオバトル

今年のビブリオバトルは6月23日(金)に生徒4名先生4名の計8名で争われました。そして、チャンプ本(1位になった、読みたくなかった本)に選ばれたのは『本好きの下剋上』香月美夜著です。以下、今回のエントリー一本です。

- ・『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』Jamマンガ・文(2位)
- ・『パンドラの少女』M.R.ケアリー著(2位)
- ・『ポール・マッカートニー作曲術』野口義修著
- ・『方舟』夕木春央著
- ・『だから僕は大人になれない』ぺいんと著
- ・『容疑者Xの献身』東野圭吾著
- ・『日本語 表と裏』森本哲郎著

<チャンプ本紹介>

『本好きの下剋上 司書になるためには手段を選んでいられません』香月美夜著

人々の識字率も低く、書物はほとんど存在しない。あっても高価でなかなか手に入らない。そんな世界に前世で本好きだった女の子が、貧しい兵士の家の子マインとして転生した。マインは決意する。「本がないなら、作ってしまえばいい。図書館司書になるのを目標にしよう。」本好きマインが成長していく異世界ファンタジー。小説版、コミック版ともに図書館にあります。(抜けている巻はカウンターでリクエストしよう。)



2. 第34回JHSLしおりコンクール

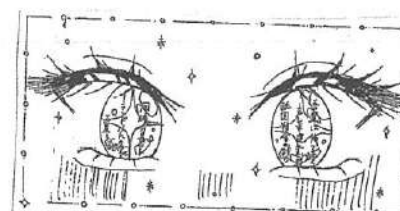
6月26日(月)に担当図書委員、当日の来館者の投票をもとに図書担当(友野先生)、芸術科(内本先生)、司書(今出)で順位を決めました。その結果1年6組・矢野美早季さんの作品が1位となりました。(2位はペンネーム・ラプンツェルさん、3位は1年匿名希望さんの作品です)また、審査員特別賞として2年5組・新宮早弥華さんの作品を選出しました。優秀作品は、近日、図書館で配布します。



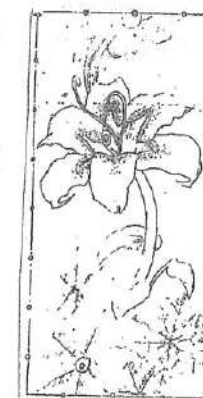
<予告>ビデオ上映会企画

生徒図書委員会ビデオ上映班では7月11日(火)と14日(金)の40分短縮授業期間中の放課後にビデオ上映会を企画しています。上映作品など詳細は「図書委員会ニュース」で近日中にお知らせします。

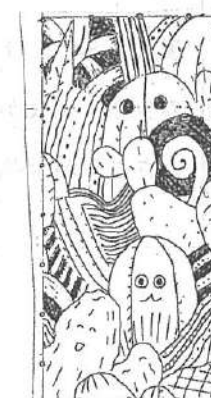
<1位 1-6 矢野美早季さんの作品>



<3位匿名希望さんの作品>



<2位ラプンツェルさんの作品>



<特別賞 2-5 新宮早弥華さんの作品>

七夕にちなんだ文学作品



『毒草師 七夕の雨闇』
高田崇史著
毒殺された被害者の親戚にあたる星祭家では独特な七夕祭

を執り行っており、異様な事件が連続する。《毒草師》御名形史紋らは、笹・砂々・金・星の言葉を読み換え「七夕」に隠された歴史を解き明かし事件を解決していく。



『七夕の夜におかえり』
三萩せんや著
兄妹のように育った聡士が急死した。2年後、伊織のもとに

彼のスマホが託されてから不思議なメールが届き始める。天才肌の彼が遺した研究が、旧暦の七夕に由来する夏祭りの夜に奇跡を起こす！



『左京区七夕通東入ル』
瀧羽麻子著

七夕の夜、わたしはたっくんと出会った。文学部のわたしにとって、たっくんも友人たちもどこかキテレツな理系男子ばかり。ゆかいな彼らに囲まれて送るキャンパスライフの中たっくんと距離はなかなか縮まらない。やがてたっくんを夢中にさせている恋敵も現れて…。



『境内ではお静かに七夕祭りの事件帖』
天柵涼著

縁結びの源神社で、壮馬は雑用係を続けている。年下の巫女・雫へ恋心を伝えることはできていない。ある日壮馬は元カノの佳奈に頼まれ、学習塾を手伝うことに。そこに謎の男・上水流が現れて…。神社の年中行事、七夕祭りが迫る中、壮馬と雫の凸凹コンビの恋の行方は？



『七夕委員 星に願いを』
今日マチ子著
1年に1度だけ橋向こうの学校の男子と会える七夕会。でもそこに

現れたあいつは……。誰の心にもいる思春期の少年と少女が織りなすみずみずしい日常のささやかな奇跡を描いたマンガ。



『七夕の月』
佐々木ひとみ・作
長年「仙台七夕まつり」を守ってきたおばあちゃん。「まぼろしの七夕かざりをみつけて

ほしい……。」そのねがいをかなえようと二人の少年が折り鶴を折っていく。そして奇跡が…。



『たなばたのねがいごと』
村中李衣・作
こわれたりなくなったりしないもの？

じかんがたってもだいじなもの？それって、なんだろう？あおいが短冊にこめた願いとは…？家族のつながりを描いた珠玉の絵本。



『竜宮城と七夕さま』
浅田次郎著

竜宮城で浦島太郎はどんなごちそうを食べたのか？織姫と彦星は年に一度の逢瀬で恋が続いたのか？表題作他、独自の視点で語る浅田次郎の珠玉のエッセイ集